

若葉の美しい季節になりました。玄関前のケヤキも、盛夏とは全く違萌葱色に輝いています。

行事、学習活動と本格的に

5月に入り、学校の様々な活動も本格的に動き始めました。2日(金)の**遠足**では、5年生と五里ヶ峯への往復20kmをいっしょに歩きました。花曇りの天気でしたが、さわやかな風に時折吹かれながら、全員が全行程を歩くことができました。登る途中は「先生、頂上まであとどれくらい!!」の声がよく聞かれ、相当バテた様子も見られましたが、休息場所の池で、大きなカエルに出会って大騒ぎに。あっという間にみんな元気になってしまい苦笑してしまいました。私(伊藤)は、同じ池の近くでヒトリシズカの花を見つけ、疲れが洗われる思いでした。他の学年も元気に出かけてきた報告をうけました。



児童総会を終え、連絡に休み時間も活動している6年生の姿があります。

今週は「**なかよし週間**」で、交流学年とペアを組んで休み時間に遊んだり、**全校集会**でじゃんけん列車を楽しんだりしました。



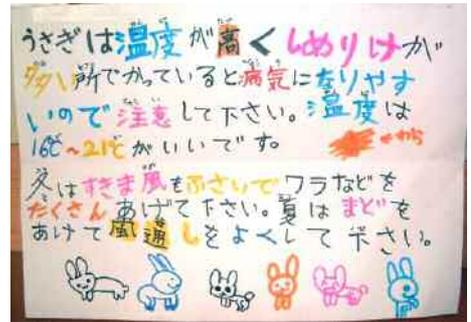
14日(火)には**音楽鑑賞教室**があり、和太鼓演奏、とガーナ出身のみなさんによるアフリカンリズムを大いに楽しみました。また、各クラス(学年)では、**6月の音楽会**の選曲がほぼかたまってきた様子です。今年は学年いっしょの発表が多いようです。

今週から**朝の陸上練習**も始まっています。25日(日)の更級小学生陸上競技大会に向けて、4年以上の希望参加児童20名が、いつもより早く登校しての練習に参加しています。時間を惜しんで、自分の身体づくりをがんばっているみなさんを応援したいです。





3年生の教室の前に貼ってありました。うさぎ当番は、4年生は役目を終えて3年生に引き継ぎです。引き継ぎにあたって、4年生のみなさんがていねいにイラスト付きで3年生に説明してくれたものです。一年間、気をつけてきたこと、心をこめて世話してきたことがよくわかり、これなら3年生も、はりきって当番をやってくれると思わせるものでした。今週も毎朝、3年生はよく世話をしてくれています。



今年も地域の方々と共に



朝読書の時間には、今年も「読み聞かせ」に、語り部の会の方々や読み聞かせボランティアの方々が来てくださっています。2回目の15日は高学年でした。5年生は「蜘蛛の糸」、6年生は「100万回生きたねこ」を聴きました。「蜘蛛の糸」をちょうど借りていた児童もいたりして、子どもたちの読書、文学への興味を広げる、とても大事な時間になっていて、ありがたいことと感じました。

15日(金)にはクラブ活動が始まりました。球技クラブ、囲碁将棋クラブ、マレットゴルフクラブなど、今年も地域の方々に指導者をお願いしたところ、快く引き受けてくださり、大変感謝しています。長年子どもたちとかかわってくださった方々が、新たな共に活動できることは、大変貴重な体験です。

5月の校長講話 「ふしぎがたいせつ」 から。

4月以来、きっと校長先生ならなんでも知っている？ということでしょうか、「校長先生これなんですか？」と、児童のみなさんが見つけたことを聞かれることがあります。その場で即答できるものばかりでなく、図書館で調べたり、ネットで検索したり、となるのですが、子どもたちが疑問に思うこと、ふしぎに感じた気持ちを大切にしたいと、話しを始めました。



「学力の向上」が叫ばれ、授業時数が大幅に増やされる学習指導要領が2月に示されました。その一方で、「学ぶ意欲の低下」が中高生以上ではずっと話題になってきていることも事実です。学ぶ環境が準備されていても、学ぶ気持ち、意欲がないことには、自分から長続きできる学習はできません。そして、学ぶ意欲をもつ時期として、小学校の高学年は、実はとても大事な時期のように思えます。総合的な学習の目的には、「自らの生き方について考えることができる。」とあります。小学生に「生き方」とは大げさに思えますが、「人の役に立つことをやり喜ばれてよかった。」とか、「興味あることを調べていくと、次々にさらに興味がわいてくる。」とか、「友だちといっしょにやったからこそできた。」とか、将来を生きていくエネルギーになる体験をぜひしてほしいと思います。

そんなきっかけとして、「さらしなのふしぎ」として3つの疑問を児童のみなさんにぶつけました。子どもたちなりに郷土についてあらためて考えるきっかけという思いです。幸い関心をよせて、すぐに調べてきたり、家族に聞いて答をよせてきたお子さんがいます。もし、そんな話題がお子さんからでたら、いっしょに考えたり、調べるヒントを与えたり、サポートしていただければうれしいです。